

卒業論文

文庫活動が生み出す新たなコミュニティのかたち

九州大学文学部

社会学・地域福祉社会学研究室

2017年（平成29年）入学

2021年（令和3年）1月提出

要約

本論文では、地域の連帯感の希薄化が懸念されているなかで、糸島市の地域文庫への聞き取り調査を通して社会的役割や継続要因を分析することで、文庫活動から新たなコミュニティのかたちを明らかにすることを目的としている。全体の構成としては、まず先行研究をまとめ、聞き取り調査の分析を行い、考察し結論に至るという構成になっている。

はじめに、文庫活動の定義、歴史、現状とその問題点についてまとめた。家庭文庫、子ども文庫、地域文庫と、文庫に関する名称は様々あるのだが、文庫活動の定義を検討する中で、家庭文庫と地域文庫の総称を子ども文庫と定義する論が多いことが分かった。しかし、現在は子ども文庫と名乗る団体は少なく、蔵書も親子が楽しめるものを揃える文庫が主流となっていることから、文庫活動の内容は時代とともに変化しており定義も様々であるという認識に至った。文庫の歴史は主に戦前と戦後に分けてまとめてある。文庫活動の現状として、文庫活動の減少と実演グループの増加がみられ、この要因を、子どもを取り巻く現状の変化とボランティアに対する価値観の変化であるとした。また、文庫活動の問題点としては、図書館の充実、読書行為の相対化、担い手の減少を挙げた。

次に、コミュニティの定義を確認するため、江上渉、倉沢進らの研究を参考に、主にヒラリー、マッキーヴァー、パーク、ウェルマンの論を用いて整理した。その結果、コミュニティは論者によってその定義を変えているが、文庫活動に対しても、社会的相互作用が交わされていること、地域的空間の限定性、共通の絆のヒラリーの3つの要件を満たしていることから、コミュニティと認識するに値すると考え論を進めることとした。

次に、コミュニティ活動の内容について、自己充実型活動、社会奉仕型活動、問題解決型活動の3類型に分類し、3つのコミュニティ活動がはっきりと区別がつけられるわけではなく、相互促進的、相互浸透的な関係にあることを確認した。そして、文庫活動は、文庫の人々がやりがいを感じながら活動していること、活動対象を地域住民としていることから、自己充実型活動と社会奉仕型活動の要素を併せ持った活動であると考えた。

調査は、文庫活動の運営者を対象に、調査対象者の語りを聞きながら、適宜筆者から質問を行う半構造化インタビュー調査を行った。調査対象は、「そよ風文庫」「はるかぜ文庫」「かむり文庫」「くれよん文庫」「たけのこ文庫」の5つの文庫で、代表者1人に行つたもの、活動メンバー全員に行ったものがある。聞き取り調査を分析するにあたって、糸島市、それぞれの文庫が活動対象としている校区の概要もまとめた。

調査をもとに、敬遠されていた文庫、需要の高まりがみられた文庫、疎遠になる文庫、これから文庫に分け考察を行った。文庫が敬遠されていた時代背景には、女性が社会運動に参加することに伴う問題、児童への図書供給が軽視されていた価値観があった。需要の高まりがみられた時代には、文庫が子育てサークルとしての役割を担っていた様子が読み取れた。文庫が疎遠になる背景としては、子どもを取り巻く状況の変化等様々な要因が重なっていた。これを踏まえ、からの文庫のあり方として、コミュニティセンターから図書室が廃止され文庫活動の活動場所が制限されつつあることから、筆者はコミュニティ文化の個性化に可能性を見出した。活動場所が確保できない文庫ではコミュニティ文化が個性をもち、コミュニティ・アイデンティティを発見することで、所属意識や居場所感を高めることができると考えたのである。

最後に、文庫活動から新たなコミュニティのかたちを明らかにするという本研究の目的から、筆者は文庫活動が「ゆるやかに長く、多世代交流を自然に促すことのできるコミュニティである」と結論づけた。地域の親子のために文庫活動を行うという目的で始められた文庫であったが、現在はその他にも自己実現のためであったり仲間との交流を楽しむ場所であったりとその目的は多様なものとなっているからである。以上を踏まえ、文庫活動を楽しんでいたらいつのまにか地域貢献をしていたという状態になっていくのではないかとの仮説と文庫活動が多世代交流の場として地域貢献する可能性を述べ、本論文の結びとする。

目次

1 本研究の目的.....	1
2 先行研究.....	2
2.1 文庫活動とは	2
2.2 文庫活動の歴史	2
2.3 現在の文庫活動とその問題点	5
2.4 コミュニティとは	7
3 研究方法・分析.....	10
3.1 調査概要	10
3.2 糸島市の概要	12
3.3 たけのこ文庫	14
3.3.1 概要	14
3.3.2 調査結果・分析	15
3.4 くれよん文庫	19
3.4.1 概要	19
3.4.2 調査結果・分析	20
3.5 かむり文庫	25
3.5.1 概要	25
3.5.2 調査結果・分析	26
3.6 そよ風文庫	28
3.6.1 概要	28
3.6.2 調査結果・分析	29
3.7 はるかぜ文庫	32
3.7.1 概要	32
3.7.2 調査結果・分析	33
4 考察	35
4.1 敬遠されていた文庫	35
4.2 需要の高まりがみられた文庫	35

4.3 疎遠になる文庫.....	36
4.4 これから文庫.....	36
5 結論.....	39
参考文献.....	40